

市長公約の市民への
5つの約束の中で3つ目
「子どもの未来を守る」
ことについて



秋山 幸子 議員



質問…市単独補助金の対象として、市長は現在5割補助の給食費補助は取りやめる方向性を示されました。憲法第26条第2項「義務教育は無償とする」の原則に立ち、学校給食の無償化に戻す考えがあるか伺います。

答弁…令和4年度は令和3年度と同様に5割程度の補助を実施しております。学校給食費の保護者負担をできるだけ軽減した

いとの考えは理解しており、学校給食法第11条第2項において、食材料費は保護者が負担するという原則も踏まえ、私の公約の一つであります財政の健全化の中で総合的に判断してまいります。

質問…愛知県津島市が、小・中学校、保育所、幼稚園、認定こども園の給食の完全無償化を発表し、財源としたのが地方創生

臨時交付金です。政府が総合緊急対策に、地方創成臨時交付金で学校給食費の負担軽減に向けた自治体の取組を支援する方向が盛り込まれましたがいかがか伺います。

答弁…国から提示がありまして、ただいま給食費とか子育て世帯に対して事業案を調整している所です。調整つき次第ご提案させていただきます。

一般質問



滝田 一郎 議員



産業振興及び生活基盤確保
のための辺地対策事業債の
積極的導入について

質問…(1)本市の辺地総合整備計画の現状について伺います。
(2)元利償還金の80%が普通地方交付税の算定に用いる基準財政需要額に算入される有利な本事業を積極的に導入し、活用する考えがあるか伺います。

答弁…関連がありますので、一括してお答えします。辺地とは市役所、学校、郵便局、医療機関、バス停留所までの距離が遠隔で

あり、交通条件にも恵まれず、他の地域と比較して生活条件に不均衡が生じている地域をいいます。このような条件を毎年度点数化し、辺地に該当する地域を国に報告をしています。令和3年度末の条件では、黒羽地区に11地区、大田原地区に2地区、

合わせて13地区となりました。令和4年度当初予算では、須賀川地区では清水橋橋梁修繕工事、

大神地区では市道大神福原線道路改良事業、藤沢地区では市道大田原喜連川線道路改良事業を計上しています。次年度以降ににおいても、公共施設の整備を実施しようとする地区が辺地の条件を満たす場合には総合整備計画を策定し、辺地対策事業債を積極的に活用してまいります。

持続可能な公共交通について



伊賀 純 議員



質問…デマンド交通の現状と今後の在り方について伺います。

答弁…開始から9年が経過し、湯津上、黒羽、親園、野崎、佐久山で運行しており、令和3年度の実績は、25012人が利用し、補助金として4834万4033円を交付しています。

質問…2013年からこれまで、車両を何台購入し金額がどのくらい投入されているのか、また、

車両の名義はどこかを伺います。

答弁…8台のワゴン車を約2900万円で購入し、名義は、山和タクシーとなっております。

質問…市営バス、外出支援事業で使用されている車両の名義の扱いを伺います。

答弁…どちらの車両も市の名義になっていきます。

質問…市の事業として考えた時、市の名義とし無償貸与が基本と

思うが、考えを伺います。

答弁…デマンド交通には事業計画があり、運行の内容には車両、整備費も全て含めた内容となっていて、車両が事業者の名義になっていることについては、誤っているとは考えていません。

質問…大田原と東京の直通バスを検討いただけないか伺います。

答弁…運営事業者に打診をした上で考えられればと思います。

一般質問



前田 則隆 議員



重度心身障害者医療費助成事業について

質問…障害者団体や家族からの現物給付の要望が出ており、障害者やその家族の手續の不便さを解消し、生活の安定と経済的負担の軽減を図るための医療機関での窓口で支払いが不要な現物給付について伺います。

答弁…重度心身障害者が医療機関を受診した際の医療費の一部を助成し、障害者の保健の向上と福祉の増進を図るものです。

令和3年度の助成者数は1348人であり、助成額は9369万9246円であります。現物給付することにより県の重度心身障害者医療費補助金が2分の1から4分の1に減額されるペナルティーが生じ、財政面で大きな負担となっております。

本市としても、重度心身障害者の利便性の向上を図る観点からも現物給付が望ましいものと考

えていますので、令和4年度から導入された精神障害者保健福祉手帳1級所持者への助成拡大に合わせ、県に対し現物給付にペナルティーを科さないよう要望しているところです。県からは、まず対象者の拡大を優先し、その上で他の助成制度と併せ検討していくと回答がありました。